

立命館創始140年、学園創立110周年記念 立命館大学文学部 京都学連続講座

「京」の伝統と歴史文化への誘い

立命館京都学の発信

受講料
無料

講座概要

第一部 9月11日(土)

「京」の審美眼

第二部 10月9日(土)

「京」の原風景

第三部 11月6日(土)

「京」の芸術

第四部 12月4日(土)

「京」の伝統文化

1. 京都イメージは幻想か
「京都らしさ」を作り
上げた源氏物語の周辺

講義テーマ
中本 大(日本文学)

1. 京都盆地の原風景と
平安京

講義テーマ
高橋 学(地理学)

1. 京都日本画革新の旗
手たち 明治・大正期

講義テーマ
島田康寛(日本美術史)

1. 京のデザイン
西陣織・友禅染图案が
語る京都の歴史と美術

講義テーマ
木立雅朗(日本史学)

織田信長が上杉謙信に洛中洛外
図屏風を贈った折、源氏物語屏風が
ともに届けられていました。戦国時
代と「源氏物語」のつながりを手掛
かりとして、「京都らしさ」を鍵に、
文学作品と「京都」の関わりを確認
していきます。

自然は人間の営みに比べれば変
化しないと考えられてきました。し
かし、近年の環境変動の結果をみる
と、意外に変化があることが明らか
になってきました。ここでは、当時
の自然環境の中で人間の生活との
かわりについて検討をしていき
ます。

圧倒的な「西洋」の移入に直面し、
伝統との間で格闘した京都日本画
の動向を、明治中期の竹内栖鳳、明
治末・大正初期の千種掃雲ら丙午
画会、大正期の土田麦僊、小野竹喬、
村上華岳、榊原紫峰ら国画創作協会
の革新運動を通して紹介します。

近代の西陣織・友禅染は、大量の
図案(デザイン)を残しました。これ
らは急速に散逸しつつありますが、
近代京都の歴史と美術を語る上で
貴重な資料として注目されていま
す。ここではその魅力の一端を紹介
します。

2. 水上勉と「京都」
「雁の寺」を中心に

瀧本和成(日本文学)

2. 太秦の地に古代山背
の道をたどる

片平博文(地理学)

2. 堂本印象美術館 見学
「特別企画展」
金鳥桂華の世界―華鶴大塚美術
館所蔵品より

「特別企画展」
金鳥桂華の鮮麗な花鳥画の世界に
あわせて、堂本印象によって描き出
された様々な花や鳥の姿をご覧頂
きます。

2. 京の「みやび」と室町文化
京都の近代化をめぐって

三枝暁子(日本史学)

作家水上勉に大きな影響を与えた
「京都」という地をめぐって、その
風土(性)に注目し、考察したいと思
います。水上勉が、「京都」をどのよ
うに見、どのように描いたか。作品
を鑑賞する中で、その特質を探っ
ていきます。

平安京の成立以前、松尾社から太
秦の地にかけて斜めに横切る一本
の古代道がありました。道の痕跡は
今でもわずかに残っているのです
が、それに気付く人はいません。こ
こでは、渡来人の秦氏によって計画
されたと考えられるその道の実像
を探ろうと思います。

※テーマ1の講座終了後、無料で見
学していただけます。

鹿苑寺金閣をはじめとする京都
の禅宗寺院は、「室町文化」を代表す
る名所として今も多く観光客を
集めています。ここではそうした
「室町文化」の定義や意味付けにつ
いて、明治期以降に展開する日本文
化論とからめながら検討したいと
思います。

千二百年の永きにわたる歴
史と文化に培われてきた街、京
都。立命館はこの京都で誕生
し、二〇一〇年に創始140年、学
園創立110周年を迎えました。わ
たしたち文学部は人類の長い
叡智によって育まれた「伝統文
化」を基盤とし、京都とともに
歩んで来ました。立命館の周年
事業として文学部では、「京都」
をテーマに連続講座を開講し
ます。数多くの京都学に携わる
立命館大学の研究者が行う、立
命館ならではの講座です。多彩
な講師陣が「京都」をテーマに
文学・歴史・芸術・地域観光
など様々な視点から「京都」を
解説し、皆様を「新たな京都」を
発見する旅へと誘います。

会場 立命館大学 衣笠キャンパス 清心館 3F 534 号教室

時間 テーマ1 13:00～14:30 テーマ2 14:50～16:20 (受付: 12:30～)

お申込方法(事前申込制)

<FAX・郵送の場合>

申込書(裏面)に必要事項をご記入の上、FAX で送信または郵送して下さい。

<E-mail の場合>

件名を「京都学連続講座参加申込」とし、本文に申込書(裏面)の内容をご記入の上、送信してください。

※ 定員を超えた場合、締め切らせて頂くことがありますので、あらかじめご了承下さい。

FAX
郵送 / 送付先
E-mail

075-465-8188
603-8577 京都市北区等持院北町 56-1
mlst-ltooffice@mlst.ritsume.ac.jp

主催：立命館大学文学部

「京」の伝統と歴史文化への誘い 受講申込書

FAX : 075-465-8188

＜申込にあたって＞

全4回受講のほか、1回ごとの受講も可能です。但し定員を超える場合はテーマごとに全4回受講の方を優先のうえ、先着順とします(定員：各回200名)。

複数でご参加の場合は、お手数ですが、本申込書をコピーしてお使い下さい。

※ 定員を超えた場合、締め切らせて頂くことがありますので、あらかじめご了承下さい。

以下の通り申し込みます(該当する受講申込欄に○印をつけて下さい。)

「京」の伝統と歴史文化への誘い	申込期限	受講申込
全4回を受講する	9月1日(水)	

以下の講義を受講する(講座ごとの申込)

第一部	9月11日(土)	9月3日(金)	
第二部	10月9日(土)	10月1日(金)	
第三部	11月6日(土)	10月29日(金)	
第四部	12月4日(土)	11月26日(金)	

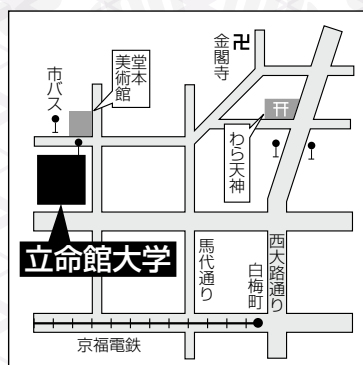
※ 各回2コマの講座をセットで受講して下さい。

※ 堂本印象美術館見学は、第三部の講座受講とセットに限ります。

フリガナ	生年月日					
ご氏名	年 月 日					
文学部校友会加入 (済 ・ 未) 未加入の方 (加入する ・ 今はみあわせる)						
ご住所 〒 ー						
TEL	FAX	E-mail				

※ 文学部交友会に関する項目は、文学部卒業生の方のみご記入下さい。

※ ご記入いただいた個人情報は、立命館大学個人情報保護規定に基づき管理し、本講座の運営以外に使用しません。



※ 駐車場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

- 阪急電車西院駅から
市バス205号にて「衣笠校前」下車(約20分)
- 阪急電車大宮駅から
市バス55号にて「立命館大学前(終点)」下車(約20分)
- JR二条駅・円町駅から
市バス15号、55号にて「立命館大学前(終点)」下車(約15分)
- JR近鉄京都駅から
市バス50号、快速205号にて「立命館大学前(終点)」(約35分)
- 京阪電車三条駅から
市バス15号、59号にて「立命館大学前」下車(約30分・15号は終点)
- 四条河原町駅から
市バス51号にて「立命館大学前」下車(約40分)
- 京福電車等持院駅から
徒歩10分



立命館大学文学部事務室

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
TEL. 075-465-8187
FAX. 075-465-8188